

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ元吉田支援教室		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日 ～ R7年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日 ～ R7年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちに、楽しさや安心感を感じられるような環境づくり	子どもたちが安心して楽しく過ごせるように、いつも笑顔で関わったり、できたことをしっかり認めることを大切にしています。	これからも、個々に合った関わりを大切にしながら、楽しい活動や経験を少しずつ広げて、もっと安心して過ごせるようにしていきます。 ご家庭とも連携しながら、子どもたちの成長と一緒に見守っていけたらと思います。
2	専門性のある支援員の配置	保育士と理学療法士が専属で支援しており、週のカリキュラムの中で理学療法士は集団レクを担当。楽しみながら運動機能を高める活動を行い、保育士は日常的に児童の発達に合わせた支援を行っています。	保育士と理学療法士が協力して、個々に合った支援を行っています。理学療法士は、テーマに合わせた楽しい運動プログラムを提供し、子どもたちが楽しみながら続けられるようにしていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの活動等のスペース確保。	現在、子どもたちの活動スペースが十分に確保できていないことが、事業所の課題の一つです。これは、建物の構造や利用できる部屋の数に限りがあるため、子どもたちに合った活動をより広い空間で行うことが難しい状況です。今後もしできる範囲で環境の工夫をしながら、子どもたちが安心して過ごせるよう取り組んで参ります。	ダンスや手話の時間はテーブルをよけて、できるだけ広く使えるようにしています。座っての活動のときはテーブルを出して、メリハリをつけながら工夫しています。限られたスペースですが、できるだけ子どもたちが安心して過ごせるように取り組んでいます。
2	放課後児童クラブと児童館との交流。	児童館や放課後クラブとの交流が少ないことは課題ですが、QOL全体イベントや地域の行事のご案内、公園での自然な関わりを大切にしています。今後は、交流の機会も少しずつ広げていきたいと考えています。	地域の放課後児童クラブや児童館との交流を進め、QOL全体イベントを通じてお子さまたちや近隣の方たちが参加しやすい場を提供したいと考えています。地域とのつながりを大切に取り組んでいます。
3			